



令和8年1月22日

入学説明会挨拶

おはようございます。また、遅くなりますが、2026年、令和8年、あけましておめでとうございます。

本日は、本当に寒い中、入学説明会・体験入学にお越しくださり、誠にありがとうございます。

さて、保護者の皆様、山崎工マ監督の『小学校～それは小さな社会～』という映画をご存知でしょうか？日本の小学校を舞台にしたドキュメンタリー映画が話題になりました。

あの映画の中では、子どもたちが自分たちで掃除をし、給食を配り、時にはぶつかり合いながら自分たちで問題を解決していく姿が描かれています。予告編で申し訳ありませんが、少し下りを覗いていただこうと思います。

（『小学校～それは小さな社会～』の予告編を見る）

<https://www.youtube.com/watch?v=P9O5TcFr-zQ&t=6s>

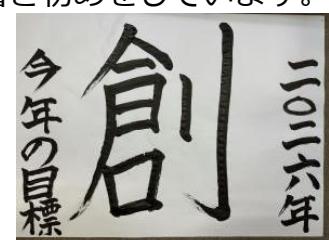


世界中の人たちがその映像をみて、「日本の小学校は、知識だけでなく、共に生きる力を育む素晴らしい場所だ」と感銘を受け、アカデミー賞にノミネートされました。

本校の新庄北小学校も同じです。ここは、お子様が初めて出会う「小さな社会」です。算数や国語の学習はもちろん大切ですが、それ以上に、友達と助け合い、時には我慢し、相手を思いやる。そんな「人としての根っこ」自立を養う素地を作っていくことを考えています。

私は、この第3学期始業式で、今年の目標を漢字一字で考え、書き初めをしています。今年の目標はこの漢字です。

（「創」の字を提示する）



なぜ、この漢字にしたのか、子どもたちは3つお話をしました。

1つ目は、今年2026年、令和8年が創立50周年だからです。50年間で培ったこの学校の良いところは引き継いでいこうと思います。

2つ目は、新しい自分や強い心を「創」ってほしいからです。この「創」という字は「今までになかったものを新しく生み出す」という意味を持っています。今までできなかったことにも挑戦をして、「新しい自分」を創る。苦手だったことへの向き合い方を工夫して、「強い心」を創ってほしいと思います。

3つ目は、学校の未来を「創」ってほしいからです。この学校が開校して50年が経ちます。これから的新庄北小学校を創るのは新入生も含めた子どもたちです。

子どもたちだけでなく保護者の皆様も未来の新庄北小学校を創る担い手です。子どもたちのサポートをどうかよろしくお願ひいたします。

